



瓶コーラ、牛乳、コーヒー牛乳各150円。湯上りの一杯にどうぞ

季節を感じながらお湯に浸かれる露天風呂

手前は薬湯、奥は季節ごとに内容が変わるイベント湯



余計な油を落とすため、まん丸ではなく、やや縦長の形に



静かな時間が流れる須波港。佐木島行・生口島行のフェリーを運航

三原三 すなみ港売店

8:00~16:30
※たこ焼きの販売は10:00~15:30頃
定休日 / 元日

たこ焼(8個入)650円。ノスタルジックな雰囲気の待合所で食べるもよし、外のベンチで潮風を感じながら食べるもよし

目前で繰り広げられる芝居は迫力満点。観劇入浴コース12歳以上2000円、4歳~11歳1000円。入浴のみは12歳以上900円、4歳~11歳500円

三世羅三 大衆演劇 せら温泉

10:00~20:00(最終受付19:30)
※大衆演劇の観劇は13:00~15:30
不定休

人情味あふれる大衆演劇と
多彩な温泉で心身を癒やす



フロントで販売しているオリジナルタオル250円。思い出に1枚いかが？

江戸時代から庶民の娯楽として親しまれてきた大衆演劇。誰もがわかりやすいストーリーと、演者との距離の近さから生まれる臨場感が魅力だ。『せら温泉』では、1カ月ごとのサイクルで人気劇団を迎え、人情味あふれる芝居と華やかな舞踊ショーを開催している。1月は「新川劇団」、2月は「劇団雪月花」が出演する予定。観劇と温泉入浴がセットになったコースがあるので、露天風呂や薬湯など多彩な湯と大衆演劇をダブルで楽しもう。流行りのサウナは塩、遠赤、チームの3種を利用できる。演劇の世界と湯に浸り、日常から離れる特別な時間を過ごしてみよう。



店主の長岡彩さん(右)とスタッフの山本祐子さん(左)

「港に用事がなくても、わざわざ食べに行きたい」とリピーター続出中の、須波港待合所のたこ焼き。売店ができたのは約30年前、当初はメニューになかったが、名物をつくりたいと先代の店主が販売を始めた。人気の理由は、主役であるタコへのこだわり。三原産のみを使用し、生の状態で仕入れ、食感をやわらかくするため、茹でた後に冷凍している。店を切り盛りする長岡彩さんは、先代の店主が店を閉めることにした際、「この場所をなくしたくない」と受け継ぐことを決意したそう。「我慢のたこ焼きなのでいろんな人に食べてもらいたい」と満面の笑みを浮かべる。

三原産の大きなタコに感動
須波港でたこ焼きを頼張る